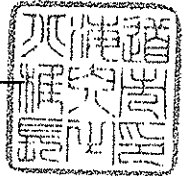


稚地域第98号  
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 宮田年耕 様

北海道稚内市長 横田耕



### 中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり、意見を提出いたしますので、お取り計らいよろしくお願ひ申し上げます。

## 【序論】

本市はもとより、宗谷管内の地域づくりを支えるため、中長期的な考え方に基づいた計画的な道路整備の着実な推進に期待をすると共に、現在、本市においては、「サハリンとの国際交流を推進する幹線道路の整備」・「迅速で安定した輸送体系の整備」・「高次医療アクセスルートの整備」・「広域観光ルートの形成」等の課題を抱えております。

これらは、国際交流、地場産品の高付加価値化や市場の拡大、生命を守るための搬送時間の短縮、観光振興等、地域にとって重要で喫緊の課題であり、このため、中期的な計画の作成にあたっては、地方の地域事業、道路交通事情を考慮した計画の作成を強く要望いたします。

## 【重点化を進める上で、特に優先度の高い政策】

### ■ 高次医療施設への搬送時間の短縮

- 本市の医療において、市立病院は2次医療機関であり、それ以上の治療を有する患者は、高次医療に指定されている病院のある「名寄市」又は「旭川市」に搬送しているのが実態です。

本市から「名寄市」までは、180km、3時間、「旭川市」までは250km、4時間、搬送時間を要し、特に冬期間は吹雪等の視程障害が発生しているのが現状であり、「住民の命を守る」上で、幹線道路の整備は喫緊の課題であります。

### ■ 防災対策の強化

- 昨年末から頻発している千島列島沖地震に伴う津波警報の発令により、本市のオホーツク沿岸地域において、冬季間の避難場所の確保に苦慮しており、国道の高台の駐車帯に避難しているのが実情です。

発令時間が長時間にわたると、トイレ等の設置がないため、住民に不便をかけており、それらの設置と駐車帯の拡幅を要望いたします。

なお、それらの駐車帯は、景観にも優れており、「宗谷シーニックバイウェイ」ルート指定されており、ビューポイント駐車場にも活用できると考えます。

### ■ 産業の活性化

- 本市は広大な土地や豊かな自然資源に恵まれ、第一次産業が基幹産業であり、「食糧基地」として多くの一次製品や加工品を全国へ供給しております。

これらの製品の輸送には、大消費地への迅速で安定した輸送路の確保

が極めて重要であり、これにより製品の高付加価値化や市場の拡大が図られ、しいては地域産業の振興・活性化につながるものと考えます。

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

■ 既存ストックの利活用

- 現在の厳しい財政状況化において、新たな設備投資も重要ですが、既存ストックを有効に活用し、その価値を高めていくことが今後、益々重要になってくると考えます。

既存の道路を活用し、より規格の高い道路整備（例えば、本市で施工している更喜苦内防雪事業）が、予算を抑えて地域の課題に応える工事として、本市のような地方都市間の道路整備では必要であります。

また、既存の道路構築物が今後、数多く更新時期を迎えますが、適切な時期に効率的な補修による長寿命化、優先度やトータルコストの抑制による計画的な道路管理を図ることも重要です。

■ 地域と一体となった道路管理

- 道路管理を道路管理者が進めるのではなく、道路の主な利用者である地域住民と協働で管理を行うことにより、意識の向上が図られるとともに、道路が身近な構築物につながると考える。

- クリーン作戦
- 沿道の植栽

【その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見】

■ 実勢にあった規制速度の設定

- 本市郊外の道路は、実勢速度と規制速度の乖離が大きい。日本全国、同じ基準ではなく、構造上問題がなければ、地域にあった運用も考慮すべきと考える。